

基本目標

安全・安心に暮らせるまちづくり

4

政策

安全・安心の充実

1

施策

1

防災対策の充実

【町民ニーズ】

- 町民の生命、財産を守るためには町全体での防災力（自助、共助、公助）の強化が必要です。
- 自主防災組織の防災力強化のため、技術の向上や資機材の充実が求められており、防災訓練等を通じて、防災関係機関の組織体制の実効性の検証や平時からの防災関係機関等との相互の連携強化、職員及び町民一人ひとりの防災に関する意識と知識の向上が必要です。

【町を取り巻く環境（課題等）】

- 自助：災害時に焦らずに対応できるように事前に行動を想定し、物品を用意する必要があります。
- 共助：災害時お互いが助け合えるように自主防災組織力を強化する必要があります。
- 公助：災害時に町職員が適切に対応できるように訓練を実施し知識や意識を高める必要があります。

阪神・淡路大震災における
生き埋めや閉じ込められた際の
救助主体等

救助主体等	割合
自力で脱出	34.9
家族	31.9
友人・隣人	28.1
通行人	2.6
救助隊	1.7
その他	0.9

出典：（社）日本火災学会（1996）
「1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」より内閣府作成

【施策目標（目指す姿）】

自助・共助の考え方のもと、町民が災害時を想定して、災害に強い地域づくりをしている。

【目標指標（単位）】	基準年	R7	R8	R9	R10
自主防災訓練への参加者数（人）	1,360 (R5)	1,400	1,450	1,500	1,550
資機材の購入をした自主防災組織の数（団体）	12 (R5)	14	15	16	17
災害に備えて食料品などを備えている町民の割合（eマーケティング）（%）	75 (R5)	—	—	85	—

13
防災施策に
関係する
関係機関に
関係する
関係する

具体的な取り組み ～事務事業～

① 自主防災活動事業

【事務事業目標】

地域として災害に備えた準備をしている。

【目標指標（単位）】

自主防災組織が行った訓練の回数（回）

基準年	R7	R8	R9	R10
22 (R5)	23	23	24	24

【取組概要】

訓練を実施した自主防災組織が購入する資機材、備蓄品の購入に対して補助します。

② 防災対策事業

【事務事業目標】

町民一人ひとりが災害時に備える必要性（自分を守る・家族や他人も守ることができる）を認識し、準備をしている。

【目標指標（単位）】

デジタル避難訓練への参加者数（人）

基準年	R7	R8	R9	R10
—	300	400	500	600

【取組概要】

デジタル避難訓練の実施により、身近に防災について考える機会を創出します。
自主防災組織や関係団体への防災訓練や出前講座等の研修、防災フェアなどを実施します。



基本目標	安全・安心に暮らせるまちづくり			
4	政策	安全・安心の充実		
	1	施策	消防団体制の充実	
		2		

【町民ニーズ】

- 日本は災害大国であり、町に限らず、日本のどこの地域で大地震が発生してもおかしくない状況です。また、近年の異常気象により今までの想定を大幅に超える自然災害の発生が予測される状況でもあります。町民として、今後、町で大きな災害が発生し被災した場合、自身や家族の命が安全であることは何にも代えがたいことであり、町民ニーズであるといえます。
- 昨今では、大規模災害（地震・風水害等）において自助・共助・公助が叫ばれておりますが、町として消防団を活用した公助の体制を強化することで、町民の安全安心を確保することが必要です。

【町を取り巻く環境（課題等）】

- 第1次実施計画において、令和4年4月から茅ヶ崎市との消防の広域化を開始することで常備消防の大幅な強化を図ることができました。そのため、第2次実施計画では消防の広域化後の非常備消防である町消防団の充実・強化を考えています。
- 全国の消防団員数と同様に、町においても消防団員は年々減少、平均年齢や被雇用者割合も高くなり始めていることから消防団員の構造も変化し始めています。令和5年度には総務省消防庁の「消防団の力向上モデル事業」に町が採択されたことを大きな転換点として捉え、現状に即した町消防団の新たな体制を模索しています。

町消防団の状況

新規入団者数（人）

R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
9	7	4	5	6

20～30代の新規入団者数（人）

R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
2	6	1	3	4

消防団員の平均年齢（歳）

R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
39.9	40.3	40.9	41.6	42.6

消防団員の平均勤続年数（年）

R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
11.5	11.9	12.4	13.1	13.9

【施策目標（目指す姿）】

消防団員の平均年齢が下がっている。
大規模災害時の消防団の防災体制が強化されている。

【目標指標（単位）】	基準年	R7	R8	R9	R10
消防団員の平均年齢（歳）	42.6 (R5)	42.3	42.0	41.7	41.4
火災出動時の消防団員の参集率（％）	89 (R5)	90	91	92	93
消防団の防災訓練の指導回数（回）	8 (R5)	9	10	11	12



具体的な取り組み ～事務事業～

① 消防団充実強化事業

【事務事業目標】

消防団員の平均年齢が引き下がっている。
大規模災害（地震・風水害等）時に適切な活動ができるように、大規模災害に備えた体制が確立している。

【目標指標（単位）】

新規入団者数（人）					
基準年	R7	R8	R9	R10	
6 (R5)	7	7	8	8	
20～30代の新規入団者数（人）					
基準年	R7	R8	R9	R10	
6 (R5)	4	4	5	5	
消防団の防災士取得者数（人）					
基準年	R7	R8	R9	R10	
—	30	32	34	36	

【取組概要】

実災害を想定した教育・訓練の提供を入団のメリットとしていきます。また、消防団の防災業務の中心を担う防災士の取得者数の増加、地域の防災訓練指導の回数を増加させ、消防団の防災力を強化していきます。



町消防団に配備した50mmホースとガンタイプノズル

「消防団の力向上モデル事業」の様子



基本目標

安全・安心に暮らせるまちづくり

4

政策

安全・安心の充実

1

施策

3

交通安全・防犯対策の充実

【町民ニーズ】

・交通事故や犯罪がなく安全で安心して暮らせる町であることを求められています。

町内での人身事故発生件数

	全人身交通事故		うち自転車関係事故		
	発生件数 (件)	死者数 (人)	発生件数 (件)	構成率 (率)	死者数 (人)
平成30年	153	0	39	25.5%	0
令和元年	158	0	47	29.7%	0
令和2年	132	0	33	25.0%	0
令和3年	143	0	49	34.3%	0
令和4年	149	2	47	31.5%	0

【町を取り巻く環境（課題等）】

・超高齢化社会などの社会情勢を背景にして、交通安全対策においては、県から頻繁に自転車交通事故多発地域に指定されており、交通事故の中でも特に自転車による事故が多く発生している状況です。

・防犯対策においては、巧妙化した特殊詐欺の被害が発生しています。

【施策目標（目指す姿）】

交通安全対策において、茅ヶ崎警察署等の関係各所と連携し啓発活動を行っていくことで、町民の交通安全意識の高揚が図られている。

防犯対策において、茅ヶ崎警察署等の関係各所と連携し啓発活動を行っていくことで、町全体で特殊詐欺の被害を防止する気運の醸成が図られている。

【目標指標（単位）】	基準年	R7	R8	R9	R10
自転車交通事故の発生件数（件）	49 (R5)	46	43	40	37
特殊詐欺の被害件数（件）	16 (R5)	14	12	10	8
自転車の交通ルールを認知している町民の割合（％）	52.4 (R5)	55	58	61	64
特殊詐欺対策をしている町民の割合（％）	－	－	55	－	65

3

すべての人に健康と福祉を

16

すべての人に質の高い生活を

具体的な取り組み ～事務事業～

① 交通安全活動事業

【事務事業目標】

自転車交通事故件数が減少している。

【目標指標（単位）】

高齢者向け交通安全教室等の参加者数（人）

基準年	R7	R8	R9	R10
51 (R5)	56	61	66	71

参加者の意識が上がった割合（％）

基準年	R7	R8	R9	R10
－	60	65	70	75

【取組概要】

警察や関係機関と連携して、町民の安全意識が向上するようなキャンペーンなどの普及啓発活動を行います。

② 防犯対策推進事業

【事務事業目標】

特殊詐欺の被害が減少している。

【目標指標（単位）】

高齢者向け防犯教室等の参加者数（人）

基準年	R7	R8	R9	R10
40 (R5)	45	55	60	65

参加者の意識が上がった割合（％）

基準年	R7	R8	R9	R10
－	60	65	70	75

【取組概要】

警察や関係機関と連携して、町民の防犯意識が向上するようなキャンペーンや地域講話などの普及啓発活動を行います。



基本目標

時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり

5

政策

都市インフラの最適化

1

施策

道路の整備

【町民ニーズ】

- 利用する誰も（歩行者・自転車・自動車）が安全で、安心して快適に通行できる道路環境整備が求められています。
- 安全安心な通行を確保されている道路の維持管理が求められています。

道路の課題



道路の老朽化

【町を取り巻く環境（課題等）】

- 町内の多くでは古くからの宅地が立ち並んでおり、新たな道路・歩道の整備が困難な状況です。
- 既存の道路・橋りょう等の老朽化が進行しており、舗装修繕や橋りょうの長寿命化を行う必要があります。



【施策目標（目指す姿）】					
町民が安全で快適に道路を利用できている。					
【目標指標（単位）】	基準年	R7	R8	R9	R10
町民満足度の向上（整備）（％）	93 (R6)	94	95	96	97
町民満足度の向上（維持補修・維持管理）（％）	92 (R6)	93	94	95	96

11 住み続けられるまちづくりを

具体的取り組み ～事務事業～

① 道路橋りょう整備事業

【事務事業目標】

道路環境の適正な整備がされている。

【目標指標（単位）】

道路改良箇所（箇所）

基準年	R7	R8	R9	R10
1 (R6)	1	1	1	1

【取組概要】

既存道路の改良や砂利道整備、グリーンベルト設置による歩車分離、交差点改良など道路改良を行います。

② 道路橋りょう維持補修事業

【事務事業目標】

道路環境の適正な維持管理がされている。

【目標指標（単位）】

舗装修繕計画に基づく解消率（％）

基準年	R7	R8	R9	R10
0 (R6)	25	50	75	100

【取組概要】

舗装修繕・橋りょう長寿命化を実施します。
日常的なパトロールを強化し、危険を把握し、早期対応を図ります。

取組事業



グリーンベルトによる歩車分離

基本目標

時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり

5

政策

都市インフラの最適化

1

施策

2

公共交通網の整備

【町民ニーズ】

・公共交通網の整備については重要度が高く、町民の関心が高いです。また、転入の理由においても交通の利便性を挙げた方が多く、その充実が求められています。

・コミュニティバスの利用者数はコロナ禍以前の水準を回復しつつあり、町民からは鉄道等へのスムーズな乗り継ぎを求める声など、さまざまな要望・意見をいただいています。

・生活交通手段への適切な支出負担を検討する必要があります。町内での移動に関して、歩道が狭く歩きづらいことなど道路整備や交通安全の充実に関する要望が多く挙げられています。

令和6年度寒川町総合計画アンケート

(6)分析結果(施策タイプ分類・ポートフォリオ分析)

【町民全般 施策タイプ分類】※R3年度重要度をスライドして作成

<施策タイプI>

今後の重要度が高い、現状の評価が低いため、**力を入れて取り組むべき施策**

(20) 防災対策の充実①家庭 (R4.5:施策タイプII)

(21) 防災対策の充実②行政

(23) 地域医療の充実

(24) 交通安全・防災対策の充実①

(25) 交通安全・防災対策の充実②

(26) 道路の整備

(27) 公共交通網の整備

(35) 勤労者対策の充実

【町を取り巻く環境（課題等）】

・コミュニティバスの利用が少ない地域が存在します。

・交通空白地域の解消・解消された状態を維持する必要があります。

・路線バスが減便傾向にあります。

・高齢者の生活交通手段の確保が必要です。

・人口減少や生活様式の変化による公共交通利用者の減少があります。

・歩行者自転車ネットワークを形成し、身近な生活道路の質的向上を図る必要があります。

令和6年2月 寒川町アンケート調査報告書より抜粋

(6)転居先を決める際に考慮する、重要な事項

問3、もし転居するとした場合、転居先を決める際に優先される事項は次のどれですか。

治安がよい(安全である) 48.9%

交通の便が良い 42.4%

日常の買い物しやすい 36.0%

勤務地や学校に近い 33.7%

住宅の規模や価格など住宅条件が良い 28.3%

自然災害(台風・地震など)が少ない 26.4%

子育て支援・子育て環境が充実している 21.4%

親や子どもの家に近い 12.7%

病院など医療施設が充実している 12.3%

自然環境が豊かである 10.8%

地域の人間関係が良い 4.4%

教育環境が整っている 3.5%

暮らしに関する施設が整っている(具体的に) 3.3%

高齢者・障がい者向けの福祉環境が充実している 3.1%

煩雑に関する施設が整っている 2.7%

友人や知人がいる 1.2%

その他(具体的に) 1.7%

【施策目標（目指す姿）】

誰もが安心して快適に利用できる移動サービスが実現している。

【目標指標（単位）】	基準年	R7	R8	R9	R10
コミュニティバス利用者数（人）	63,949 (R5)	66,306	68,023	69,740	71,457
コミュニティバス利用者満足度（％）	53 (R5)	—	—	60	—

96

11 具体的な取り組み

まちづくり

具体的な取り組み ～事務事業～

① 公共交通充実促進事業

【事務事業目標】

地域の特性に応じた公共交通、安全で快適に利用できる歩道・自転車道が整備されている。

高齢者の生活交通手段の確保されている。

自家用車等から公共交通への転換推進が行われている。

【取組概要】

地域の特性に応じた公共交通手段を検討し、啓発活動や交通事業者との協議を行います。

高齢者を対象にコミュニティバスの割引制度を実施します。

【目標指標（単位）】

コミュニティバス利便性に係る改善項目数（個）

基準年	R7	R8	R9	R10
1 (R5)	1	1	1	1

高齢者コミュニティバス割引利用回数（回）

基準年	R7	R8	R9	R10
—	20,091	21,355	22,618	23,882

97

基本目標

時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり

5

政策

都市インフラの最適化

1

施策

3

下水道の整備

【町民ニーズ】

- 近年の集中豪雨等による浸水被害により、水害に対する町民の意識が高まっており、内水シミュレーション結果からも水害リスクが大きい箇所から雨水管整備を進める必要があります。また、洪水対策による河川改修に併せ、はけ口整備を進めることで、内水による浸水被害の解消も求められています。

【町を取り巻く環境（課題等）】

- 町内の直近5年間の浸水実績では、令和3年7月3日の梅雨前線における浸水被害が大きく、洪水により床上浸水1戸、床下浸水5戸が発生しています。
- 近年では計画降雨50mm/hを超えるような降雨量が記録されており、既往最大降雨（72mm/h）の内水シミュレーションでも床上浸水（浸水深50cm以上）する箇所が存在します。

海老名観測所での時間50mm以上の降雨量

平成26年10月	平成28年8月	平成30年3月	令和2年7月	令和3年7月	令和3年9月
53.5mm	52.5mm	72.5mm	52.5mm	51.5mm	65.5mm

時間72mm降雨での内水シミュレーション結果

【施策目標（目指す姿）】

内水による床上浸水被害を受けていない。

【目標指標（単位）】

	基準年	R7	R8	R9	R10
内水による床上浸水戸数（戸）	0（R5）	0	0	0	0

11 住み続けられるまちづくりを

具体的取り組み ～事務事業～

① 下水道整備事業

【事務事業目標】

排水能力及び河川への排除能力が強化されている。

【目標指標（単位）】

小動幹線枝整備率（％）				
基準年	R7	R8	R9	R10
68.83（R5）	75.49	78.88	82.27	85.22

大曲幹線枝整備率（％）

基準年	R7	R8	R9	R10
38.82（R5）	53.56	68.75	68.75	84.53

小出川への排除能力（m3/s）

基準年	R7	R8	R9	R10
1,398（R5）	5,049	6,282	6,282	6,904



基本目標

時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり

5

政策

市街地の整備

2

施策

1

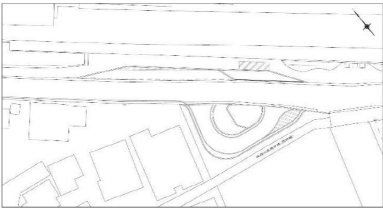
市街地整備の推進

【町民ニーズ】

寒川駅周辺は寒川駅に向かう町内各地からの交通ネットワークの強化が求められています。

田端西地区は新たな産業拠点として計画的な市街地整備が求められています。

寒川駅南口整備事業（イメージ図）



田端西地区位置図



田端西地区土地利用計画図



【町を取り巻く環境（課題等）】

寒川南口の道路は幅員が狭く、通過車両と駅への送迎車両による交通障害が生じています。また、駅から南口バス乗降場が離れているため、利用者に不便が生じています。

田端西地区はさがみ縦貫道路の開通や都市計画道路藤沢大磯線の開通により、交通の利便性が高まりました。この状況の中、地区内の農地転用や耕作放棄地が多くなっており、スプロール化が懸念されます。このことから、立地環境を考慮し新たな産業集積拠点を整備するため、市街化区域に編入し、組合施行の土地区画整理事業が行われています。

【施策目標（目指す姿）】					
町民が生活中心拠点（寒川駅周辺）へ快適に行き来できている。 町民が産業集積拠点としての土地利用ができるようになっている。					
【目標指標（単位）】	基準年	R7	R8	R9	R10
寒川駅南口のタクシー及び一般車の乗降場の供用開始	—	—	—	—	●
田端西地区の産業用地の整備面積 (ha)	5 (R5)	13	13	—	—

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

具体的な取り組み ～事務事業～

① 寒川駅南口整備事業					
【事務事業目標】 寒川駅南口のタクシー及び一般車の乗降場の供用により、町民が快適に行き来している。	【目標指標（単位）】 寒川駅南口整備事業の整備進捗率（％）				
	基準年	R7	R8	R9	R10
	0 (R5)	—	—	50	100
【取組概要】 整備するための関係機関との協議、工事、供用を行います。					
② 田端西地区まちづくり事業					
【事務事業目標】 組合施行の土地区画整理事業が円滑に施行できている。	【目標指標（単位）】 土地区画整理事業の整備進捗率（％）				
	基準年	R7	R8	R9	R10
	88 (R5)	99	100	—	—
【取組概要】 早期の事業完了に向けて、施行者である土地区画整理組合に対し、技術支援を行うほか、公共施設等の整備に係る費用に対し助成金を交付します。					

ツインシティ倉見地区整備事業

ツインシティ倉見地区整備事業については、将来都市構造における都市未来拠点を実現するための重要な事業です。実施にあたっては、東海道新幹線新駅誘致と密接に関わることから、本実施計画の枠組みにとらわれず中・長期的な取り組みとして進めます。

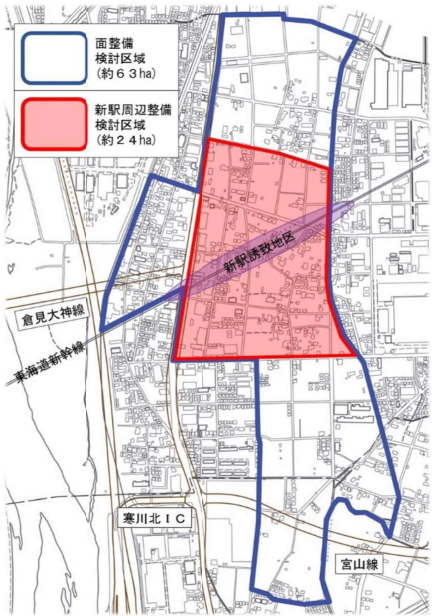
関連する基本目標等

- 基本目標 5 時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり
- 政策 2 市街地の整備
- 施策 1 市街地整備の推進

現状と課題

東海道新幹線新駅の設置を目指して
いる本地区は、全国との交流連携の窓
口となる神奈川県南のゲートに位置
付けられるとともに、町においても将
来都市構造における都市未来拠点に位
置付けています。

新駅誘致とともに圏央道寒川北イン
ターチェンジやJR倉見駅などの交通結
節点としての機能充実や新市街地の整
備を図るとともに、ツインシティの理
念である環境と共生する都市を目指
し、町民や行政などの協働による新た
なまちづくりを進める必要があります。



ツインシティ倉見地区まちづくり

事務事業の目標

ツインシティ倉見地区は、東海道新幹線新駅誘致地区を中心に、JR倉見駅や圏央道寒川北インターチェンジ周辺なども含め、広域的な交流機能を担う交通結節点としてふさわしい文化・交流、商業・業務などの機能集積を図り、必要な都市基盤整備等に取り組むとともに、環境と共生する新たな市街地の形成を目指す。

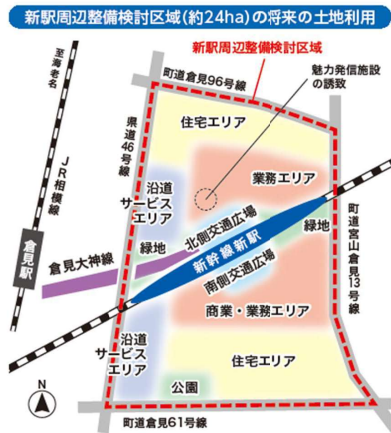
事務事業の概要（中・長期的な取り組み）

都市未来拠点の実現に向け、3つのプロセスに分けて進めていきます。
ツインシティ倉見地区は新駅を前提としたまちづくりであることから、まずは「仕組み・枠組みづくり」の段階において、新駅設置に向けた鉄道事業者等への要望活動と、まちづくりに対する合意形成に向けた取り組みを進めることで、新駅の実現を目指すとともに、その先の事業実施、都市の成熟のプロセスにつなげていきます。

ツインシティ倉見地区まちづくりのプロセス

仕組み・枠組みづくり	事業実施	都市の成熟
- 鉄道事業者等への要望活動 - まちづくり案の合意形成 - 事業性の検討 - 法定手続き協議	- 新駅設置協議 - 法定手続き - まちづくり事業実施	（リニア中央新幹線 品川・大阪間全線開業） - 新駅開業 - まちびらき - 都市未来拠点の形成

新駅周辺整備検討区域 （重点地区）



〈土地利用のイメージ（案）〉

基本目標

時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり

5

政策

産業基盤の整備

3

施策

1

商業の振興

【町民ニーズ】

- 店舗が少ない、品揃えが少ない等、商品によっては町内の店舗では購入ができないこともあり、町外の店舗や大型店で買い物をしています。

(事業者)

- 一部飲食店では、人手不足のため、新メニュー開発や来客を増やすことが難しく、デジタル化等効率化の支援が求められています。
- 創業希望者ごとのニーズに対応した支援と創業準備から創業後の一体的なサポート概況等が必要です。
- 上記より、ライフスタイルの変化に伴い、町民の購買力の流出等の問題が発生していると思われます。

【町を取り巻く環境（課題等）】

- 町事業所数も経営者の高齢化等により減少傾向であり、地域経済の発展のためには、開業による新しい事業者の出店が求められています。
- 町の開業の現状は、国全体の開業率低下と同様に減少傾向に推移しています。近年、副業も含め働き方が多様となる中で、潜在的な創業希望者も存在することから、その発掘から創業に結びつけることが課題となっています。
- 寒川町満足度アンケートより魅力的な店舗が多くないという意見が多いです。
- 飲食業からは、どうにか盛り上げたいという声や常連客が来てくれればいい等、各々の立場での意見が出ています。

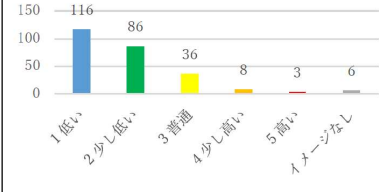
令和5年6月1日寒川町総合計画アンケート
調査結果報告書より抜粋

(31)商業の振興 の満足度

魅力的な店舗があると思いますか？

区分	設問(31)
1 低い	116
2 少し低い	86
3 普通	36
4 少し高い	8
5 高い	3
イメージなし	6
平均	1.8
イメージなしの比率	2.4%

設問(31)



【施策目標（目指す姿）】

魅力的な商業者が増え、域内経済の循環が図られることで、地域活性化につながっている。

【目標指標（単位）】

	基準年	R7	R8	R9	R10
デジタル地域通貨による決済金額（円）	—	120,000,000	150,000,000	180,000,000	210,000,000
創業者数（人）	25（R5）	26	27	28	29

104

8 働きがいも
経済成長も



具体的な取り組み ～事務事業～

① 商業振興事業

【事務事業目標】

魅力のある商業者が増え、利便性が向上している。

【目標指標（単位）】

デジタル地域通貨加盟店数（店舗）

基準年	R7	R8	R9	R10
—	200	300	310	320

創業支援等事業計画に基づく支援数（件）

基準年	R7	R8	R9	R10
64（R5）	66	68	70	72

【取組概要】

創業後のフォロー体制を構築します。
消費者のニーズに対応した魅力ある商業振興を図り、各個店の魅力を周知できる支援をします。
デジタル化への取り組みを実施します。

105

基本目標

時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり

5

政策

産業基盤の整備

3

施策

2

工業の振興

【町民ニーズ】

・ 社会環境や経済環境の大きな変化に適応するため、経営力の向上、稼ぐ力の創造（経営革新、生産性向上、販路開拓など）が求められています。

・ 慢性的に従業員が不足しています。

・ マーケットへのアクセスなど環境が良い工業系用地のニーズがあります。

第2-2-71図 支援機関において、2019年と比較して、2023年時点で重要性が高まったと考える経営課題

事業計画策定	26.1%
事業承継・H&A	13.5%
人手不足	11.6%
販路開拓・マーケティング	10.6%
経営改善	9.4%
資金繰り	8.4%
デジタル化・DX	7.3%
創業	3.6%
事業再生	2.8%
設備転讓	1.1%
生産設備増強、技術	1.0%
研究開発	1.0%
脱炭素化・GX	1.0%
人材育成	0.4%
海外展開	0.6%
その他	1.4%

資料：EYストラテジー・アンド・コンサルティング（株）「中小企業支援機関の現状と課題に関する調査」
（注）「2019年時点で事業を開設していない」と回答した事業者を除外して集計している。

中小企業白書小規模企業白書2024年版より抜粋

【施策目標（目指す姿）】

地元工業の企業力の向上により、地域経済が活性化されている。

【目標指標（単位）】	基準年	R7	R8	R9	R10
支援先企業の前年比売上高DI（ポイント）	—	10	10	15	20
新規立地等件数（件）	3（R5）	3	3	3	3

106

8 働きがいも経済活性も

具体的取り組み ～事務事業～

① 企業支援事業（エコノミックガーデニング）

【事務事業目標】

地元工業と町と支援機関が連携し、企業が抱える経営課題が解決されている。

【目標指標（単位）】

支援メニュー利用数（件）

基準年	R7	R8	R9	R10
127（R元）	130	135	140	145

経営課題への支援企業数（件）

基準年	R7	R8	R9	R10
30（R5）	30	30	30	30

② 企業等立地促進事業

【事務事業目標】

町内の工業系用地が利活用されている。

【目標指標（単位）】

新規立地等相談件数（件）

基準年	R7	R8	R9	R10
4（R5）	4	4	4	4

【取組概要】

企業等の立地促進に関する条例により、固定資産税等の不均一課税や、奨励措置を行います。また、関係機関と連携し、工業系用地の空き情報を把握し、PR活動や相談体制を整えます。

107

基本目標

5

政策

3

施策

3

時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり

産業基盤の整備

農業の振興

【町民ニーズ】

- ・ 周辺農地の都市化に伴い、近隣住民に対する配慮が必要とされています。
- ・ 適正な農地規模を維持し、景観形成や、防災機能を保ち、生産性を高める必要があります。
- ・ 就農者の高齢化、後継者不足が深刻化し、農地の遊休地化・荒廃地化など農業生産は厳しい状況におかれています。
- ・ 農産物直売所「わいわい市」は活況を呈しており、今後も、新鮮で安心安全な食料等の安定供給に努め、さらなる展望が望まれています。
- ・ 町学校給食センターが整備され、より一層の地産地消の推進が期待されています。




【町を取り巻く環境（課題等）】

- ・ 本町農業を取り巻く環境は、都市化の進展とさがみ縦貫道路全線開通などに伴い、土地利用の多様化・混在化・細分化が進んでおり、農業生産環境は年々厳さが増えています。
- ・ 農業経営は、多くの農家が農業所得のほか農外収入により経営を維持しています。
- ・ 農業者の高齢化、担い手不足などにより、遊休農地が潜在的に増加傾向にあります。

【施策目標（目指す姿）】

農業への関心が高まり、新たな担い手が創出されることで生産性が向上し、農業経営が安定している。

【目標指標（単位）】	基準年	R7	R8	R9	R10
適正利用されている農地面積率（％）	99（R5）	99	99	99	99
遊休農地面積（㎡）	21,302（R5）	20,000	19,500	19,000	18,500

2 農産物
振興に
つなぐ

2

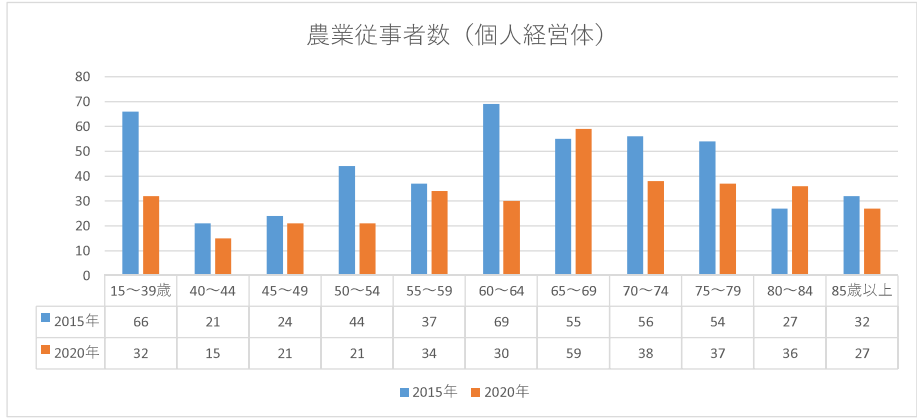
農産物
振興に
つなぐ

具体的な取り組み ～事務事業～

① 農業振興対策事業

【事務事業目標】	【目標指標（単位）】				
農業の担い手が確保され、新規就農が進んでいる。	新規就農者数（件）				
	基準年	R7	R8	R9	R10
	2（R5）	3	3	3	3
【取組概要】	利用権設定面積（㎡）				
	基準年	R7	R8	R9	R10
	2,510（R5）	3,000	3,000	3,000	3,000

担い手となる新規就農者に対し、農地相談やマッチングなど、就農しやすい環境を提供します。



基本目標

時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり

5

政策

産業基盤の整備

3

施策

4

観光の振興

【町民ニーズ】

- 年間約200万人が訪れる寒川神社などの、歴史的な資源が存在しますが、町民満足度アンケートからも寒川町は長時間楽しめる場所になっていないと評価されていることから、周遊してもらえるような仕掛けがありません。
- おでかけウォッチャーというシステム（県観光協会）から、寒川神社に参拝される方が、参拝前後に、近隣の大型商業施設等に行く傾向があるため、買い物ニーズがあると考えられます。
- 上記のことからも、観光で求められる要素を踏まえつつ、寒川町に来てもらって良かったと思ってもらえるような取り組みが必要です。

【町を取り巻く環境（課題等）】

- 県内には、横浜市、鎌倉市、藤沢市、箱根町等の観光地があります。
- 観光資源を生かしたサービスを観光客に提供できていません。
- 縦貫道路が整備され、交通が便利になっているため自動車での来訪者も多いです。
- 寒川神社の参拝者は、町内を周遊せずに帰ってしまいます。
- 参拝の前後は近隣の商業施設で買い物をする傾向があります。
- 宿泊施設がありません。

令和5年6月1日寒川町総合計画アンケート
調査結果報告書より抜粋

(34)観光の振興の満足度

町外からの観光客でにぎわい、長時間楽しめる場所となっていると思いますか？

区分	設問(34)
1 低い	103
2 少し低い	75
3 普通	52
4 少し高い	11
5 高い	2
イメージなし	12
平均	1.9
イメージなしの比率	4.7%

設問(34)

【施策目標（目指す姿）】

寒川町の文化や歴史、自然の美しさ、食等を多くの方に知ってもらい、認知度を高め、多くの方に寒川町に訪れてもらうことで、にぎわいのあるまちとなっている。

【目標指標（単位）】	基準年	R7	R8	R9	R10
観光入込客数（寒川神社を除く） （万人）	3（R5）	3	3	3	3

8

観光振興

観光振興

具体的な取り組み

～事務事業～

① 観光振興事業					
【事務事業目標】 多くの方に寒川町を知ってもらい、訪れてもらうことにより、にぎわいのあるまちになっている。	【目標指標（単位）】				
	町観光協会/プリシティ回数（回）				
	基準年	R7	R8	R9	R10
	152（R5）	160	170	170	170
【取組概要】 魅力ある観光資源の魅せ方や周知をします。 観光イベントのあり方を検討します。	町観光協会によるツアー回数（回）				
	基準年	R7	R8	R9	R10
	17（R5）	13	14	15	16



基本目標

まちづくりのための基盤づくり

6

政策

つながる力の促進

1

施策

1

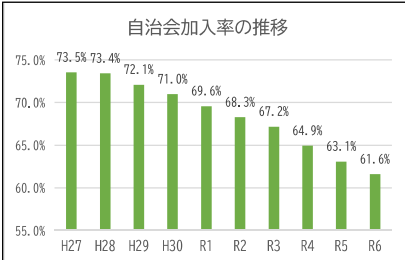
町民との協働によるまちづくりの推進

【町民ニーズ】

・ 複雑化、多様化する地域課題の解決に向け、町民と連携して地域を支えていく協働の必要性が高まっています。

・ 事業を行う上で、単位団体によるものだけではなく、団体同士が協働し行う事業も進め、町は需要と供給や団体同士のマッチングを進める必要があります。

自治会加入率の推移



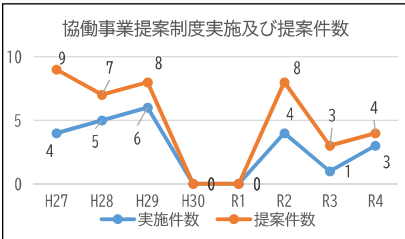
加入世帯 / 総世帯

【町を取り巻く環境（課題等）】

・ 自治会加入率は減少傾向にあり、高齢化による役員の担い手不足や、個人主義による関係性の希薄化などが課題です。

・ 協働事業提案制度への参画が少なく、関心をいかにして持ってもらうかが課題です。

協働事業提案制度実施及び提案件数



【施策目標（目指す姿）】

地域コミュニティの創出により、町民のつながりが広がり、持続可能で活発な活動が行われている。
町民が安心して暮らし、魅力ある活動が継続している。

【目標指標（単位）】	基準年	R7	R8	R9	R10
自治会加入率（％）	63（R5）	61	61	61	61
協働事業提案制度提案件数（件）	1（R5）	1	1	2	3

112

17

まちづくりの推進

具体的な取り組み ～事務事業～

① 自治会活動支援事業

【事務事業目標】

町民が安心して暮らせるように、魅力ある自治会活動が継続している。

【取組概要】

多様化するニーズに対応した活動支援として、情報発信・他団体との交流・デジタル化支援に取り組みます。
加入が安定するよう、活動周知をさらに進めます。

【目標指標（単位）】

自治会と団体等との交流の回数（件）

基準年	R7	R8	R9	R10
—	3	3	3	3

自治会の魅力を伝える情報の発信数（件）

基準年	R7	R8	R9	R10
5（R5）	7	7	7	7

② 協働推進事業

【事務事業目標】

町内住民活動団体が自発的に活動している。
町内住民活動団体や企業が相互補完できる関係になっている。
自発的に人材育成及び組織運営を行っている。

【取組概要】

企業や団体などの町民がお互いに学び合う機会を創出します。
地域や団体、行政が協力し協働事業が行える枠組みを作ります。

【目標指標（単位）】

協働事業相談件数（件）

基準年	R7	R8	R9	R10
2（R5）	3	3	4	4

意見交換会参加団体数（団体）

基準年	R7	R8	R9	R10
—	17	17	17	17

R6実施：自治会加入周知（自治会協働事業）

R5実施：公募委員サロン（まちづくり推進会議主催）

113

基本目標

まちづくりのための基盤づくり

6

政策

つながる力の促進

1

施策

2

多様な主体によるまちづくりの推進

【町民ニーズ】

・ 人権が尊重され男女が平等な社会づくりが求められています。

・ 自らの意思で社会のあらゆる分野に参画できる仕組みが求められています。

・ ライフスタイルの多様化に対応し、いきいきと安心して暮らせるために人々の連帯意識を醸成することが求められています。

地域・社会活動の場で男女平等になっていると思う人の割合（％）

回答	割合
思う	20%
どちらともいえない	39%
思わない	41%

令和5年度寒川町「男女共同参画社会に関するアンケート」集計結果

【町を取り巻く環境（課題等）】

・ 性別による固定的な役割分担意識が根強く残っており、政策や方針決定過程などへの女性の参画が十分ではありません。

・ 女性の人材育成、女性リーダーの登用促進の充実強化、職場・地域・家庭・学校などで男女の人権尊重、男女共同参画社会の意識づくりの一層の推進が課題となっています。

・ 性的マイノリティにとって生活しやすい社会であると思っている人も少なくなく、このような方々が暮らしやすい町としていく必要があります。

【施策目標（目指す姿）】					
すべての町民がお互いの価値観・多様性を認め合い、その能力が発揮できる社会が実現している。					
【目標指標（単位）】	基準年	R7	R8	R9	R10
住民アンケートの「地域・社会活動の場で男女平等になっていると思う人の割合」（％）	20（R5）	—	—	25	—
住民アンケートの「企業や団体の中で男女平等になっていると思う人の割合」（％）	—	30	—	—	35

5

だんごのり等も
利用しよう

具体的な取り組み ～事務事業～

① 男女共同参画推進事業

【事務事業目標】

町民、地域の企業や団体の方々の男女共同参画社会に対する理解が深まっている。

【目標指標（単位）】

講座内容を今後の生活に取り入れたいと回答した人の割合（％）

基準年	R7	R8	R9	R10
94（R5）	95	96	97	98

寒川町審議会における女性委員比率（％）

基準年	R7	R8	R9	R10
33（R5）	37	39	41	43

町内事業所等の管理職数の女性の割合（％）

基準年	R7	R8	R9	R10
9（R5）	—	10	—	—

講座の内容を今後の生活に取り入れたいと回答した人の割合（％）

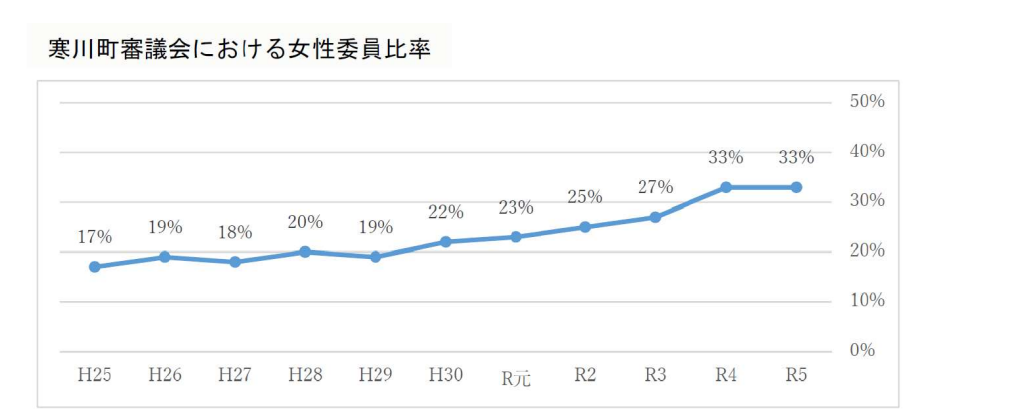
回答	割合
思う	94%
あまり取り入れなかった	5%
無回答	1%

令和5年度男女共同参画講演会参加者アンケート

町内事業所等の管理職数の女性の割合（％）

性別	割合
女性	9%
男性	91%

令和5年度寒川町勤労者実態調査報告書



基本目標

まちづくりのための基盤づくり

6

政策

持続的かつ健全な行財政運営

2

施策

1

自律的な行財政運営

【町民ニーズ】

- 20歳代の世帯が仕事の関係（就職・転職・起業）を機会に、30歳代の子育て世帯は結婚、住宅購入を機会に転入する方が多いです。
- 寒川町の良さとして、日常生活での環境面（治安・自然環境）や立地面（住宅事情・買い物利便性）が挙げられています。
- 交通の便が不便さが懸念されています。
- 若い世帯の定住傾向を高くするためには、女性が働きやすく、夫婦が共に働き続けられる環境整備（行政サービス）が必要とされています。

【町を取り巻く環境（課題等）】

- 目の前に人口減少が迫っている中で、年少人口、生産年齢人口、労働力の確保が必要です。
- ふるさと納税の流出額が年々増加しています。流出抑制は困難なため、ふるさと納税の流入増を図る必要があります。

転入者アンケート（転入機会） 20歳代

転入者アンケート（転入機会） 30歳代

※R3年6月1日～R5年5月31日回収分集計結果

【施策目標（目指す姿）】					
生産年齢人口が住む場所、働く場所、活動する場所などとして寒川町を選択している。 町外の人がふるさと納税する場として寒川町を選択している。					
【目標指標（単位）】	基準年	R7	R8	R9	R10
生産年齢人口の社会増（人）	195（R5）	198	205	208	208
ふるさと納税による寄附受入額（千円）	58,181（R5）	40,000	43,000	46,000	50,000

11

ふるさと納税を
まちづくりへ

具体的な取り組み ～事務事業～

① マーケティング推進事業

【事務事業目標】

町ブランド推進することにより選ばれ続ける確率を上げるとともに、根拠に基づいた施策実施により選ばれる確立が向上している。

【目標指標（単位）】

住民満足度（％）

基準年	R7	R8	R9	R10
26.3（R5）	26.3	—	—	29.0

町へ良いイメージを持って転入した割合（％）

基準年	R7	R8	R9	R10
80（R5）	81	81	81	81

② 広報プロモーション活動事業費

【事務事業目標】

行政の情報発信に加え、町民等からも町の魅力が発信され、移住地として選ばれる確率が上がっている。

【目標指標（単位）】

町民の「高座」のこころ。の取り組みの認知度（％）

基準年	R7	R8	R9	R10
28（R5）	—	32	—	34

町へ良いイメージを持って転入した割合（％）

基準年	R7	R8	R9	R10
80（R5）	81	81	81	81

③ ふるさと納税推進事業

【事務事業目標】

町外の人からふるさと納税を寄附する際の選ぶ要件の一つである魅力的かつ豊富な返礼品を提供している。

【目標指標（単位）】

ふるさと納税の返礼品メニュー数（品）

基準年	R7	R8	R9	R10
326（R5）	330	335	340	345

【取組概要】

魅力的かつ豊富な返礼品の開発・PR活動を行います。

ふるさと納税（単位：千円）



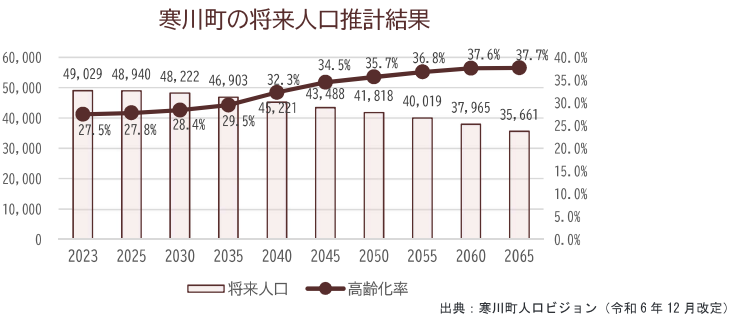
公共施設再編計画実施事業

公共施設再編計画実施事業については、老朽化が進行する公共施設の再編や統廃合・複合化、長寿命化等を計画的に実施していくために重要な事業です。実施にあたっては、寒川町総合計画 2040 の財源面の裏付けとなる財政計画との整合性を図りながら、将来的な公共施設の最適配置を実施していくため、本実施計画の枠組みにとらわれず中・長期的な取り組みとして進めます。

関連する基本目標等

- 基本目標 6 まちづくりのための基盤づくり
- 政策 2 持続的かつ健全な行財政運営
- 施策 1 自律的な行財政運営

現状と課題

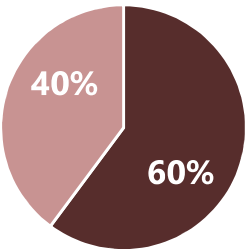


公共施設や公用施設の多くは、昭和 40～50 年代にかけて整備されており、公共建築物の約 6 割が建築後 35 年以上経過し、老朽化の進展により今後多くの施設で更新時期が一斉に到来します。

また、将来人口は 2065 年には 35,661 人となりピーク時から約 1.3 万人減少し、高齢化率は 2065 年時点で約 38% となり、令和 5 年度比で約 10% 上昇します。

これらのことから、行政が維持するための施設の優先順位付けと公共施設の最適配置を検討していく必要があります。

公共施設の約 60%が、建築後 35 年以上



事務事業の目標

- 自律的な行財政運営を維持するため、次の 3 点を基本方針として資金不足を回避するための取り組みを進めます。
- ①行政が維持するための施設の優先順位付け、②学校教育施設を中心とした複合化・多機能化、③効率的な維持管理・補修

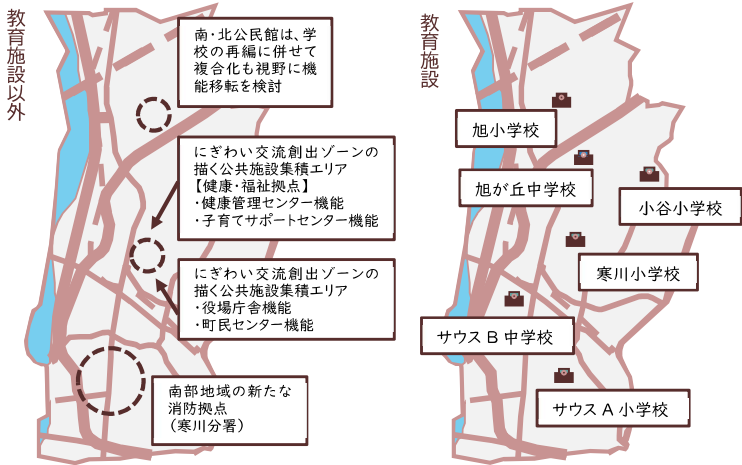
事務事業の概要（中・長期的な取り組み）

町では、今後の人口減少社会に見合う公共施設等の方向性を示した寒川町公共施設再編計画に基づき、公共施設の再編（統廃合・複合化）に取り組んでいきます。

公共施設再編計画期間の 12 年間（令和 7 年～令和 18 年）で取り組むべき概要

- ①消防広域化による南部地域の消防拠点（分署）の整備を進めます。
- ②公民館移転に向けて検討を進めます。
- ③学校教育施設の再編を進めるとともに、複合化・多機能化を検討します。
- ④学校教育施設の機能を維持するため、必要な修繕を実施します。
- ⑤地域集会所の方向性を検討します。
- ⑥にぎわい交流創出ゾーンの検討を進めます。
（役場庁舎の建替えの検討、健康・福祉拠点整備の検討）
- ⑦定期的に推計値の見直しをおこない、方針の検証を継続します。

寒川町公共施設再編計画で示す 40 年後の施設設置イメージ



【町民ニーズ】

- 町民の心豊かな暮らしを支える行政には、確実に持続的な強い組織基盤が求められており、これを担う職員には、主体的・能動的に公務に取り組む姿勢と、社会経済環境等の急激な変化の中で複雑多様化するニーズに応える（魅力的なまちづくりを行う）ための柔軟性・先見性・革新性などの能力を身に付けることが求められています。
- 行政の持続性・健全性を確保するために、行政サービス（手続き等）の効率化（サービス向上）が求められています。

令和5年度事務量調査における業務属性

属性	割合	説明
定型	42.0%	比較的定型作業領域が多い業務（アウトプット量が投下時間）
応用	28.6%	経験値を積み重ねることで作業スピード生産性が高くなる業務（業務知識・習熟度）
構想	17.0%	理論的思考や発想、思考の組み立てを要する業務（非定型業務、企画業務）
判断	12.4%	意思決定、判断を要する業務

【町を取り巻く環境（課題等）】

- 社会経済環境の急激な変化により町民ニーズは複雑多様化しており、行政に求められる業務範囲は多岐にわたり、またその水準も高くなっています。そうした状況に対応していくため、行政資源の確保と活用が必要であり、それを担う組織体制の構築と職員の確保が求められています。
- 全国的に行政サービスのデジタル化が進んでいる状況において、町民の利便性向上を図るとともに、行政の内部事務の効率化を図り、職員の業務構造の転換を図る必要があります。

オンライン手続数と申請件数の推移

年度	申請件数	手続数
R03	2,329	48
R04	5,791	163
R05	6,723	199

【目標指標（単位）】	基準年	R7	R8	R9	R10
自身による自発的な取り組みを行っている職員の割合（％）	7.1 (R4)	10.7	14.3	17.9	21.4

11
生活維持のための
サービス



具体的な取り組み
～事務事業～

① 職員力向上事業

【事務事業目標】

職員が高い志を持って創造性と生産性の高い仕事をしている。

【目標指標（単位）】

職員力指数（モチベーション）（点）

基準年	R7	R8	R9	R10
6.7（R5）	7.0	7.0	7.0	7.0

人事評価における参事・課長級の「管理能力」の平均点（点）

基準年	R7	R8	R9	R10
3.21（R5）	3.33	3.44	3.56	3.67

【取組概要】

組織としてのマネジメント力の強化と役割・資質に応じた職員育成、また、職員の主体性の向上と個々のキャリアプランを意識した育成に取り組みます。

また、職員がその能力を発揮するための環境改善を図ります。

② デジタル推進事業

【事務事業目標】

行政手続のオンライン化やデジタルツールの利用により、業務改善が進み業務時間が短縮され、職員が魅力的なまちづくりのための企画等への業務に時間を充て、能力を発揮できている。

【目標指標（単位）】

オンライン申請件数（件）

基準年	R7	R8	R9	R10
6,723（R5）	6,900	7,000	7,100	7,200

RPA・AI-OCR取組業務数（件）

基準年	R7	R8	R9	R10
8（R5）	10	12	14	16

【取組概要】

DXに関する（マインドセット、電子申請様式作成、生成AI等）研修、伴走支援によりオンライン手続数、RPA・AI-OCRの利用業務数を増やします。

